

安全データシート



1. 化学品及び会社情報

法人名 : 国立研究開発法人産業技術総合研究所
 住所 : 東京都千代田区霞が関 1-3-1
 担当部門 : 計量標準総合センター 計量標準普及センター 標準物質認証管理室
 担当者 : 認証標準物質担当
 電話番号 : 029-861-4059 ファックス番号 : 029-861-4009
 緊急連絡電話番号 : 同上

作成日 : 2013年2月5日

改正日 : 2020年1月31日

整理番号 : 6901002

化学品の名称(製品名) : 認証標準物質 NMIJ CRM 6901-b C-ペプチド
 (C-peptide)

推奨用途及び使用上の制限 : 本標準物質は、C-ペプチドの各種定量分析における分析機器の校正、精度管理及び分析試薬の値付けに用いることができるほか、アミノ酸分析における分析方法や分析装置の妥当性確認に用いることができる。免疫学的測定法に使用する場合、本標準物質のコミュタビリティの確認が必要である。試験・研究用以外には使用しないこと。
 本標準物質は、標準物質（日本産業規格（JIS）Q0030に定められるもの）である。

2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 分類できない

GHSラベル要素 : —

注意喚起語 : —

危険有害性情報 : —

注意書き : [安全対策]

通常の手扱いは危険性は低い

[応急措置]

眼に入った場合 : 直ちに流水で15分以上洗眼する。必要であれば医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合 : 触れた部位を多量の水で洗い流す。必要であれば医師の手当を受ける。

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し安静にする。清浄な水で口内と鼻腔を十分に洗浄し、医師の処置を受ける。

飲み込んだ場合 : 清浄な水で口の中を洗浄し、必要に応じて医師の処置を受ける。

[保管]

-20℃以下の冷凍庫で保管すること。

[廃棄]

関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。
 都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

上記で記載が無い危険有害性は分類対象外または分類できない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
 成分 1
 化学名又は一般名 : C-ペプチド
 化学特性 : $C_{129}H_{211}N_{35}O_{48}$
 分子量 : 3020.3
 CAS 番号 : 33017-11-7
 含有量 : およそ 100 μ g (バイアル 1 本あたり)
 官報公示整理番号(化審法) : -
 官報公示整理番号(安衛法) : -

成分 2

化学名又は一般名 : リン酸二水素ナトリウム
 化学特性 : NaH_2PO_4
 分子量 : 119.98
 CAS 番号 : 7558-80-7
 含有量 : およそ 7.5 mg (バイアル 1 本あたり)
 官報公示整理番号(化審法) : 1-497
 官報公示整理番号(安衛法) : 公表

成分 3

化学名又は一般名 : リン酸水素二ナトリウム
 化学特性 : Na_2HPO_4
 分子量 : 141.96
 CAS 番号 : 7558-79-4
 含有量 : およそ 5.3 mg (バイアル 1 本あたり)
 官報公示整理番号(化審法) : 1-497
 官報公示整理番号(安衛法) : 公表

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し安静にする。清浄な水で口内と鼻腔を十分に洗浄し、医師の処置を受ける。
 皮膚に付着した場合 : 触れた部位を多量の水で洗い流す。必要であれば医師の手当を受ける。
 眼に入った場合 : 直ちに流水で 15 分以上洗眼する。必要であれば医師の手当を受ける。
 飲み込んだ場合 : 清浄な水で口の中を洗浄し、必要に応じ医師の処置を受ける。
 応急処置をする者の保護 : 個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消火剤	: 初期消火として粉末、二酸化炭素、粉末消火設備、器具で消火する。水溶性液体用泡消火剤（耐アルコール泡）、二酸化炭素、粉末、砂、水。通常の火災時の消火方法に準ずる。
火災時の特有危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム（またはガス）が発生することがある。
特有の消火方法	: 火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。
消火を行う者の保護	: 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。防火服、耐熱服、防護衣、空気呼吸器、循環式酸素呼吸器、ゴム手袋、ゴム長靴等の保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
保護具及び緊急時措置	: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入したりしないようにする。
環境に対する注意事項	: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
回収、中和	: 漏出した液は、ウエス、雑巾または土砂等に吸着させて空容器に回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。
二次災害の防止策	: 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。風上から作業して、風下の人を退避させる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 直接人体に触れないようにする。
局所排気・全体換気	: 屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。
安全取扱注意事項	: 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。 漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに蒸気を発生させない。 使用後は容器を密閉する。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。 吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れたりしないように、適切な保護具を着用する。

保管

- 適切な保管条件 : 直射日光を避け、換気のよい-20℃以下の冷凍庫で密閉して保管すること。
- 安全な容器包装材料 : ガラス

※標準物質としての適切な保管条件、使用に関する注意事項については、認証書を参照のこと。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

データなし

許容濃度

- ・ACGIH TLV-TWA : データなし
- ・日本産業衛生学会勧告値 : データなし
- ・OSHA PEL TWA : データなし

設備対策

特に必要としない

保護具

- 呼吸器の保護具 : 有機ガス用防毒マスク、空気呼吸器
- 手の保護具 : 保護手袋
- 目の保護具 : 安全ゴーグル
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣、顔面シールド

衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱うこと。

9. 物理的及び化学的性質

- ・外観 : 粉末
- ・色 : 白色
- ・臭い : データなし
- ・pH : データなし
- ・融点 : データなし
- ・沸点 : データなし
- ・引火点 : データなし
- ・爆発範囲 : データなし
- ・相対蒸気密度 (空気 = 1) : データなし
- ・比重又は嵩比重 : データなし
- ・溶解度 : データなし
- ・n-オクタノール / 水分配係数 (log Po/w) : 水に可溶
- ・自然発火温度 : データなし
- ・分解温度 : データなし
- ・燃焼性 : データなし

10. 安定性及び反応性

◇安定性

- ・データなし

◇反応性

- ・データなし

◇危険有害反応性

- ・データなし

◇避けるべき条件

- ・データなし

◇混触危険物質

- ・データなし

◇危険有害な分解生成物

- ・データなし
-

11. 有害性情報

その他

※有害性情報については、混合物としての情報がないため、原材料の情報より作成しています。本製品は通常の条件下では安定であり、有害な添加剤成分が溶出する等の危険はありませんが、高温下での使用など特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を行ってご使用ください。

12. 環境影響情報

生態毒性

- ・データなし

分解性・濃縮性

- ・データなし

生体蓄積性

- ・データなし

土壌中への移動性

- ・データなし

オゾン層への有害性

- ・データなし
-

13. 廃棄上の注意

関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。
都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国連番号 : 該当なし
国連分類 : -
品名 : -

容器等級	: -
ICAO/IATA	: 該当なし
海洋汚染物質	: 該当なし
注意事項	: 直射日光を避け、落下、転倒等による漏洩及び火気に十分注意し、慎重に運搬する。

15. 適用法令

適応法令なし

16. その他の情報

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、全ての情報を網羅しているわけではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は情報提供を目的としており、取扱い上のいかなる保証をなすものではありません。
